

eMAXIS 先進国債券インデックス (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券／インデックス型



第2期（決算日：2018年1月26日）

作成対象期間

（2017年1月27日～2018年1月26日）

第2期末（2018年1月26日）	
基準価額	9,560円
純資産総額	59百万円
騰落率	0.4%
分配金合計	0円

受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

eMAXIS 先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）は、このたび第2期の決算を行いました。当ファンドは、ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

その結果、基準価額はベンチマークにほぼ連動する形で推移しました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざします。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈照会先〉ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

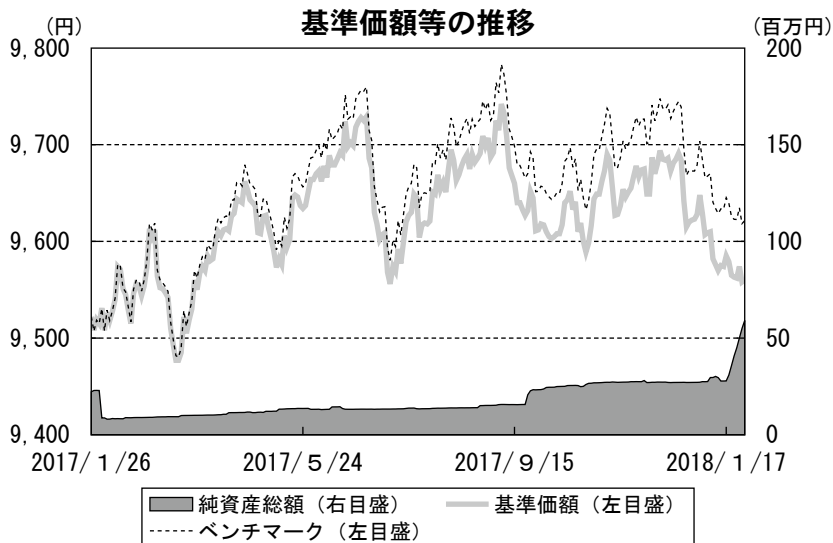
eMAXIS専用サイト <https://emaxis.jp/>

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第2期：2017/1/27～2018/1/26)

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ0.4%の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(1.0%)を0.6%下回りました。



- ・ベンチマーク(ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標)は、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	米国のインフレが抑制されるとの観測などを背景に、先進国の債券市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
------	---

1万口当たりの費用明細

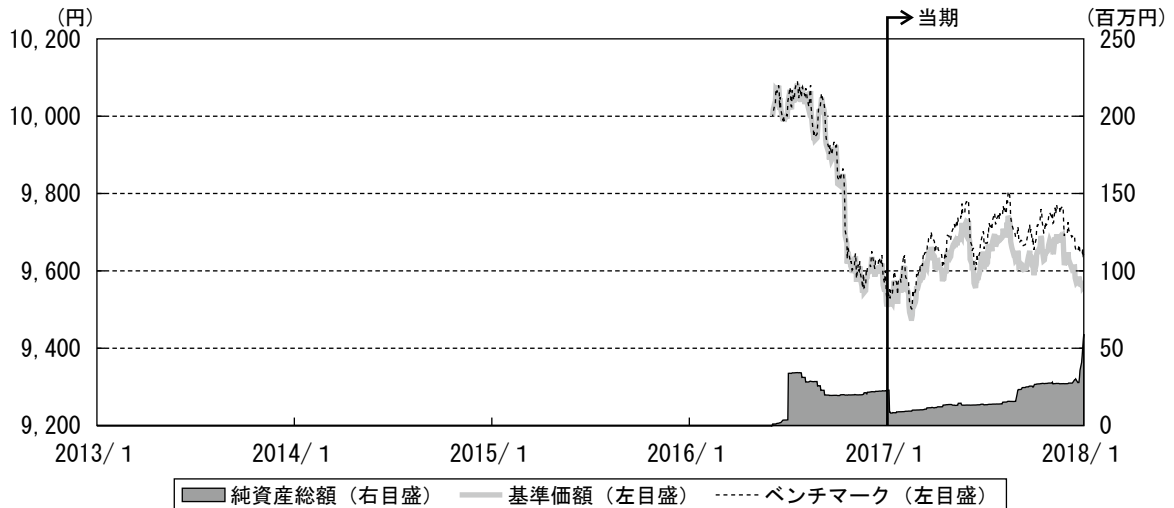
（2017年1月27日～2018年1月26日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	62円	0.641%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(28)	(0.287)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(28)	(0.290)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.064)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.017	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	64	0.658	
期中の平均基準価額は、9,623円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年1月28日～2018年1月26日）



- ・ベンチマークは、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	—	—	—	—	2017/1/26 期初	2018/1/26 決算日
基準価額（円）	—	—	—	—	9,522	9,560
期間分配金合計（税込み）（円）	—	—	—	—	—	0
基準価額騰落率	—	—	—	—	—	0.4%
ベンチマーク騰落率	—	—	—	—	—	1.0%
純資産総額（百万円）	—	—	—	—	22	59

・騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

（第2期：2017/1/27～2018/1/26）

◎債券市況

- ・先進国の債券市況は、米国のインフレが抑制されるとの観測などを背景に上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<eMAXIS 先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）>

- ・マザーファンドを主要投資対象とし、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・債券の実質組入比率は運用の基本方針にしたがって高水準を維持しました。

<ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド>

基準価額は期首に比べ1.0%の上昇となりました。

- ・日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。
- ・組入外貨建資産については、ベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行いました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首（2017年1月26日）

期末（2018年1月26日）

最終利回り	1.4%	➡	最終利回り	1.6%
直接利回り	2.4%		直接利回り	2.4%
デュレーション	6.7年		デュレーション	7.0年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

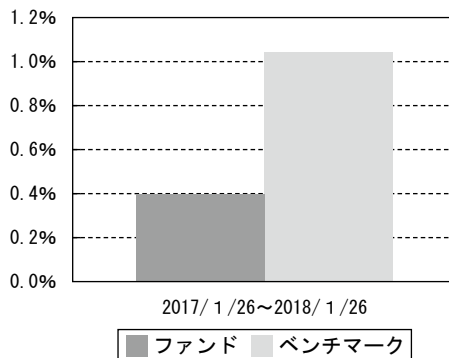
< eMAXIS 先進国債券インデックス（為替ヘッジあり） >
 ベンチマークとのカイ離は $\Delta 0.6\%$ 程度となりました。

	マザーファンド 保有以外の要因	マザーファンド 保有による要因	合 計
ベンチマーク とのカイ離	$\Delta 0.6\%$ 程度	$\Delta 0.0\%$ 程度	$\Delta 0.6\%$ 程度

（注）四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

- ◎マザーファンド保有以外の要因
 ファンドの管理コスト等は $\Delta 0.6\%$ 程度でした。
- ◎マザーファンド保有による要因
 マザーファンド保有による影響は $\Delta 0.0\%$ 程度でした。

基準価額（ベビーファンド）と
 ベンチマークの対比（騰落率）



<ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド>

ベンチマークは 1.0% の上昇となったため、カイ離は $\Delta 0.0\%$ 程度となりました。

	ポートフォリオ 要 因	管理コスト等 要 因	評価時価差異 に基づく要因	合 計
ベンチマークとのカイ離	0.0% 程度	$\Delta 0.0\%$ 程度	$\Delta 0.1\%$ 程度	$\Delta 0.0\%$ 程度

（注）四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

- ◎ポートフォリオ要因
 ポートフォリオ要因による影響は 0.0% 程度でした。
 - ・期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。
- ◎管理コスト等要因
 管理コスト等による影響は $\Delta 0.0\%$ 程度でした。
 - ・為替ヘッジ効果、カストディーフィー、取引コスト等による要因です。
 為替ヘッジ効果：為替変動に伴う外貨建資産の価格変動リスクの低減効果が、ファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。
- ◎評価時価差異に基づく要因
 評価時価差異による影響は $\Delta 0.1\%$ 程度でした。
 - ・為替の効果および債券の効果による要因です。
 為替の効果：現地通貨建て債券時価を円建てに換算する方法がファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。
 債券の効果：保有する債券の評価時価が、ファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2017年1月27日～2018年1月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	195

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

< eMAXIS 先進国債券インデックス（為替ヘッジあり） >

- ・ファンドの資産のほぼ全額をヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド受益証券に投資し、高い実質外国公社債組入比率を維持します。

< ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド >

- ・ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・組入外貨建資産については、原則としてベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行います。

お知らせ

- ①よりわかりやすい記載を目的として目論見書の特色の分配方針に「分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）」を掲載しました。
- ②当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/>→変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）（2018年1月1日）
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

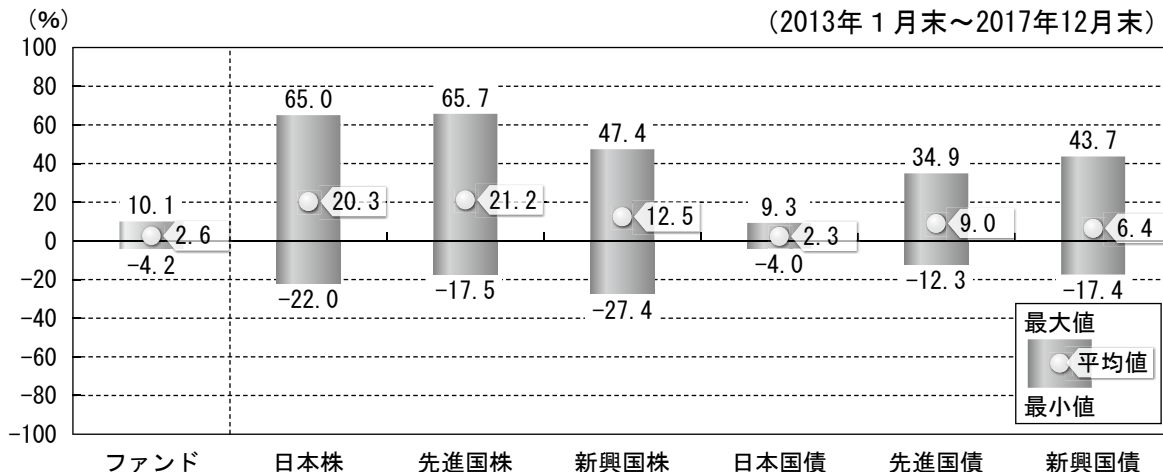
*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限（2016年7月1日設定）	
運用方針	ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界各国の公社債に投資を行い、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し公社債の実質投資比率が100%を超える場合があります。 実質組入外貨建資産については、原則として対象インデックスとの連動を維持するため為替ヘッジを行います。	
主要投資対象	当ファンド	ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、日本を除く世界各国の公社債に直接投資することがあります。
	ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	日本を除く先進国の債券市場の値動きに連動する投資成果をめざします。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（2013年1月末～2017年12月末）



○上記は、2013年1月から2017年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンド（ベンチマークの1年騰落率を含みます。）および他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

ファンドの2017年6月以前はベンチマークの1年騰落率を用いています。

○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年1月26日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第2期末 2018年1月26日
ヘッジ付外国債券インデックス マザーファンド	99.1%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第2期末 2018年1月26日
純資産総額	59,096,569円
受益権口数	61,817,761口
1万口当たり基準価額	9,560円

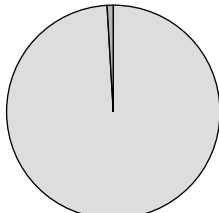
- ・当期中において
追加設定元本は67,407,535円
同解約元本は 28,910,799円です。

種別構成等

【資産別配分】

コール・ローン等

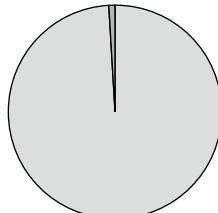
0.9%

マザーファンド受益証券
99.1%

【国別配分】

その他

0.9%

日本
99.1%

【通貨別配分】

円
100.0%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含まます。

組入上位ファンドの概要

ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド

（2018年1月26日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：649銘柄）

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	6.125 T-BOND 271115	債券	アメリカ	国債	1.3%
2	2.125 T-NOTE 210815	債券	アメリカ	国債	1.1%
3	1.625 T-NOTE 190731	債券	アメリカ	国債	1.0%
4	1.125 T-NOTE 210630	債券	アメリカ	国債	0.9%
5	1.375 T-NOTE 200930	債券	アメリカ	国債	0.8%
6	3.125 T-NOTE 190515	債券	アメリカ	国債	0.8%
7	1.75 T-NOTE 220228	債券	アメリカ	国債	0.7%
8	2.5 T-NOTE 230815	債券	アメリカ	国債	0.7%
9	2.25 O.A.T 240525	債券	フランス	国債	0.7%
10	2.25 T-NOTE 241115	債券	アメリカ	国債	0.7%

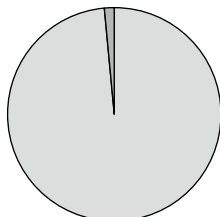
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

【資産別配分】

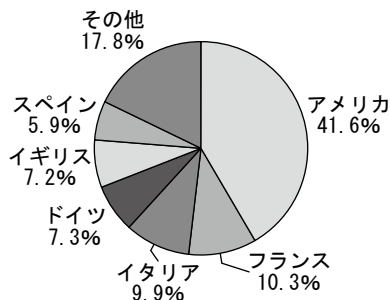
コール・ローン等

1.5%



外国債券
98.5%

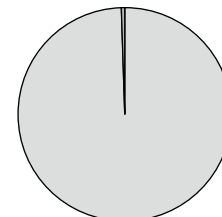
【国別配分】



【通貨別配分】

その他

-0.5%



円
100.5%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

（2017年1月27日～2018年1月26日）

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	2円	0.013%
(保管費用)	(2)	(0.013)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.013

期中の平均基準価額は、12,677円です。

（注）1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

290460

指数に関して

○ファンドのベンチマークである『シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）』について

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）とは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。